



## 佐世保市立世知原中学校

所在地	佐世保市世知原町栗迎132番地1
校長	野口 昌宏
生徒数	61名
学級数	5学級



〔学校教育目標〕 ふるさとを愛し 未来を切り拓く生徒の育成  
〈校訓〉

自主	(自ら学び、ねばり強い生徒)
創造	(自ら考え、判断できる生徒)
友愛	(豊かな感受性を持つ生徒)

## 1 テーマ

驚きや感動、価値ある体験活動を通して、コミュニケーション力と情報発信力の向上を目指し、地域とともに進化・活性化する学校づくりを推進する。

## 2 目的

- (1) 共に生きる心や感謝の心を育むとともに、「～とともに前へ～」の意識を浸透させ、コミュニケーション能力の向上を図ることで、望ましい人間関係を構築させる。
- (2) 様々な体験活動を通して、達成感、自信、自己肯定感を育む。
- (3) 問題解決をしなければならない場面に直面した時、自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく解決できる資質や能力を育成する。
- (4) 学校・家庭・地域社会の連携を図り、地域行事への積極的な参加および家庭・地域の教育力を教育活動に活用する場面を多く設定することで、開かれた学校・地域とともにある学校づくりを推進する。
- (5) 道徳教育と様々な体験活動との関連を図り、道徳的実践力を培う。

(1)～(5)を充実させ

〔学校教育目標〕「ふるさとを愛し 未来を切り拓く生徒の育成」  
を具現化する

### 3 実践内容

#### (1) 地域の人材を活用した学習活動

家庭科の保育の授業において、地域の保育園に協力していただき保育実習を行いました。子どもたちは実際に園児とふれあい実習を行うことで、幼いころを振り返り、周囲への感謝や自らの成長を実感する等多くの事を学ぶことができました。

体育科の「柔道」の授業において、地域の柔道クラブの指導者の方の協力を得て、柔道の授業を行いました。専門的な指導していただき、生徒の柔道の技能が向上しました。

#### (2) ボランティア活動の実施

生徒会役員を中心として、1年生、2年生、3年生を縦割りで班分けし地域清掃に取り組みました。

学年の枠を超えて活動し、地域に貢献することができました。



清掃ボランティアの様子

#### (3) いのちを見つめる強調月間の取組

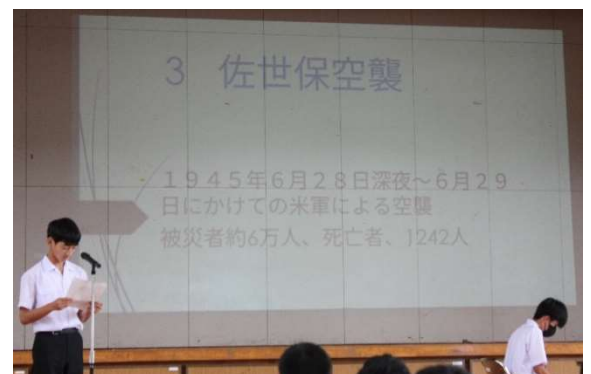


募金を寄付した時の様子

校長講話を通して「ことば」について考え、お互いに思いやる言葉をかかわすことにより、安心して過ごせる学校にすることについて考えました。道徳の公開授業では、各学級の実態に応じた「いのち」を主題にした道徳の授業を行いました。また、ウクライナ避難民寄付金募金活動やメッセージを送る活動に取り組むことで、戦争における「いのち」について考えました。メディア講演会では安全なメディアの使用法について理解を深めることができました。

#### (4) 平和教育・人権教育の推進

「6.29」平和集会において、平和実行委員が中心となり佐世保空襲についての調べたことを発表しました。その中で、「身近な人から聞いた佐世保空襲体験談」を発表し、より戦争の悲惨さを身近なものとして考えることができました。「8.9」平和集会は、台風のため時期を移して開催しました。平和実行委員の「平和に関するアンケート」の考察や「世界平和のために今自分にできること」などの発表を行い、平和に対する意識を高めることができました。人権集会では、集会実行委員を中心に「人権に関するアンケート」を分析し、発表することにより人権に対する意識を高めました。



「6.29」平和集会の様子

## (5) 地域連携の推進（キャリア教育）

2年生が中心となって取り組んでいる起業体験学習は、4年目となりました。「～ともに前へ～」の意識を生徒に強く意識させるために地域の奉仕活動を体験を企画しました。地域の行事である「じげもん市」の会場設営作業の手伝いをボランティアで行いました。東京成徳大学特任教授による講義では、地域の課題や将来について深く考えることで、地域のためにできることを話し合い、地域の観光振興について考えることができました。商品開発においては、地域のデザイナーの方に協力いただき、「ボールペン」と「カレンダー」を制作、販売しました。販売の際は世知原の名所や名産をキャラクター化したものを生徒自身が作り上げ販売に貢献していました。また、1、3年生は、世知原おくちにおいてソーラン節披露を行い、地域を盛り上げるとともに地域の一員としての自覚を高めました。この事業で得た収益は、株主への配当と地域への寄付としました。このことにより当初の目標である「地域を活性化する」ことを達成できました。また、活動を通して生徒は「情報収集・分析力」と「コミュニケーション能力」も大いに高めることができました。



生徒が考えた世知原名所・名産のキャラクター

## (6) 健康安全学習の推進



性教育講演会の様子

「性教育講演会」では講師に長崎県看護協会の助産師の方を迎え、妊婦体験や赤ちゃん人形を使った内容で、性についてやいのちの大切さについて学習を深めました。「学校保健委員会講話」ではSCによる「カウンセラーが教える毎日を楽しむ生きる方法」という演題で、自己をより良く成長させる考えた方などについての話を聞き、努力の大切さや喜び系の感情をはぐくむ方法などについて学びました。「薬物乱用防止教室」では、学校薬剤師の先生をゲストティーチャーに招き、違法な薬物の害について学ぶとともに、違法薬物の使用に誘われた際に断る方法についてロールプレイングを交えて学習し、薬物に誘われても使用しないという強い意思を持つことができました。「外部講師を招聘した避難訓練」では専門家を招き専門的観点から不審者対策の避難訓練を行いました。「学習講演会」では、九電産業株式会社の社員の方を講師に迎え、「暮らしと地球環境を考えよう」という演題で、地球温暖化の仕組みを理解し、発電と二酸化炭素の関係、持続可能な社会の実現のために必要な知識を身に付け、これからの生活でのふるまいについて考えることができました。

### (7) 野外体験活動における自然学習の実施

小学生時代からお世話になった、地元「世知原少年自然の家」でのプログラムにおいて、地域の自然や関わりのある所員の方からの指導をとおして、改めてふるさと「世知原」の魅力を再確認することができました。本施設において本年度で最後となる宿泊を伴う活動を2泊3日で行いました。改めて地域の自然と感謝の気持ちを感じる機会となりました。



世知原少年自然の家野外宿泊活動の様子

### (8) ふるさと歴史発見学習の取組

吉井地区の古城や福井洞穴ミュージアムを巡り、専門の講師の方から話を聞きました。特に、ふるさと歴史の会の講師の方により直谷城では、図解をもとにした説明を受けて、大変興味が高まりました。また、見学地のまとめを作成し、市役所や校内で展示しました。



直谷城跡見学の様子

### (9) ICT活用能力の向上

昨年度3年生に導入した、机に取り付ける本立ての導入を1、2年生でも行いました。この導入により全学年で机上で、一人一台端末と教科書、ノートを同時に活用することができるようになりました。一人一台端末をいっそう活用し、学力定着につなげてほしいと期待しています。

### (10) 2回目の「心の状況調査 (i チェック)」の実施

心の状況調査 (i チェック) を2学期末に再度実施することにより、生徒の心の変容を確認することができました。このことにより、教師側も自らの指導を振り返り、現在の課題や実践事項を共有しました。課題を3学期の指導に生かすことで、進学、進級に向けて個に応じた指導ができました。

### (11) 学校行事への意識向上

校名入り旗を、卒業式等の学校行事に飾りました。学校生活に、有意義な変化や折り目を付け、次のステップへの動機づけとすることができました。



令和5年度卒業証書授与式の様子